

世界小動物獣医師会 (World Small Animal Veterinary Association)

「小動物の注入部位に関するマイクロチップ小委員会」が、国際勧告案で提唱する動物種、大きさ (体重・体型等) によるそれぞれの埋め込み部位

※『マイクロチップによる動物の個体識別の概要(平成17年3月環境省)』より抜粋

マイクロチップの埋込み部位

		世界小動物獣医師会 「小動物の注入部位に関するマイクロチップ小委員会」	米国ブロンクス動物園提唱 埋込み部位に関する国際勧告案			
			原則として、動物の左側に埋め込むものとする			
哺乳類	犬、ねこ (A)	背側正中線の肩甲骨間より頭部より (欧州を除く全ての国におけるスタンダード。ただし、英、アイルランドを含む)	/			
	犬、ねこ (B)	左頸部の中央部 (欧州を除くスタンダード。ただし、英、アイルランドを除く)				
	犬、ねこ以外 (左右対称)	原則左側。ただし、注入部位によって雌雄鑑別を行う場合、雄は右、雌は左に注入。				
	馬 (A)	項靭帯 (耳との間の中央または1/3の部位。豪を除く全ての国において採用)				
	馬 (B)	左頸部の筋肉内 (豪において推奨)				
	牛、豚、めん羊、山羊等の食肉生産用動物	左耳基部の軟骨上皮下。(ただし、マイクロチップ注入を示すタグ等を装着。と殺時にマイクロチップの回収を強く推奨。また、マイクロチップ注入に関する規則が制定されていない場合は飼養不可。)				
	象	尾の基部の皺壁の左側			象	尾の皺壁、左側
	ハイラックス	左腰部皮下			ハイラックス	左腰部 (頸部の皮膚が厚く埋込困難のため)
	ロリス	左腰部皮下			ロリス	左腰部 (皮膚が厚く埋込困難のため)
	アルパカ	左耳後部の左頸部中央部				
その他の哺乳類 (せき柱から肩甲骨間の距離17cm以上)	その他の哺乳類 (せき柱から肩甲骨間の距離17cm以上)	左耳基部皮下	その他の哺乳類 (せき柱から肩甲骨間の距離17cm以上)	左耳後方基部		
	その他の哺乳類 (せき柱から肩甲骨間の距離17cm未満)	肩甲骨間	その他の哺乳類 (せき柱から肩甲骨間の距離17cm未満)	肩甲骨間の中央左側		
	一般 (5.5kg以上、又は足の長いもの)	頸の付け根の皮下。左胸筋内。(尾部に向けて注入し、医療用瞬間接着剤を塗って指で圧力をかけて塞ぐか、縫合する)	一般 (1.5kg超、又は足の長いもの)	頸と体部の結合部 (左)		
	一般 (5.5kg未満)	左胸筋内。(尾部に向けて注入し、医療用瞬間接着剤を塗って指で圧力をかけて塞ぐか、縫合する)	一般 (中型 (1.5kg以下))	胸筋 (左)		
	平胸類の鳥	頭部の後ろ、左側の筋肉内	/			
	高齢の鳥	左大腿部皮下				
エミュー	背側正中					
鳥類			オウム目	左胸筋		
			ハゲワシ類	頸部の基部		
			他のタカ類	左胸筋		
	カメ類 (小型)	左後肢結合部皮下	カメ類	左後肢結合部		
	カメ類 (大型、小型 (皮膚が薄いもの))	左後肢結合部筋肉内 (医療用瞬間接着剤で塞ぐ。冬眠するものについては冬眠前に数週間の余裕を持って注入する)				
	トカゲ (頭胴長12.5cm超)	左鼠径部	トカゲ (頭胴長12.5cm超)	左鼠径部		
トカゲ (頭胴長12.5cm以下)	左体腔内	トカゲ (頭胴長12.5cm以下)	左腹腔内			
ヘビ	左頸部 (鼻先から頭長の2倍の距離の部位)	ヘビ	左後頸部			
は虫類			ワニ	左前方後頭部		
	両生類	一般	リンパ管 (医療用瞬間接着剤で塞ぐ)	一般	リンパ管 (医療用瞬間接着剤で塞ぐ)	
	魚類	30cm以上	背びれの前方基部	30cm以上	背びれの左側	
		30cm未満	左側体腔内	30cm未満	体腔内	